

都市再生整備計画

きりしましこくぶちゅうおうちくだい き
霧島市国分中央地区(第3期)

かごしま きりしまし
鹿児島県 霧島市

平成29年1月12日

平成30年11月13日(第1回変更)

平成31年2月12日(第2回変更)

令和2年3月13日(第3回変更)

令和3年1月8日(第4回変更)

令和4年2月1日(第5回変更)

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	鹿児島県	市町村名	霧島市	地区名	霧島市国分中央地区(第3期)	面積	84 ha
計画期間	平成 29 年度 ~ 令和 3 年度	交付期間	平成 29 年度 ~ 令和 3 年度				

目標

大目標: 未来に向けた新たな地域の発展をリードする安全・快適な国分地域の核と顔づくり

目標1: 「核」、「顔」としての求心力の回復に向けた、まちの総合力・回遊性の向上

目標2: 骨格道路の機能強化と市民生活に密着した道路の質の強化

目標3: 安心・安全なまちとしての機能の向上

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

■中心市街地活性化基本計画に基づくまちづくりの展開

当市においては、平成11年度に「国分市中心市街地活性化基本計画」を策定し、「未来と歴史が交流する中心市街地の再生」をまちづくりの基本目標のもと、中心市街地の再生、県央中核都市にふさわしい商業の活性化を図るため、都市計画道路、駐車場等のハード面の整備を実施可能な箇所から順次進めてきている。また、TMO(旧国分市商工会議所)においても、平成11年策定された「TMO構想」に基づき、タウン誌発行、街中ガーデニング、こくぶ八坂市開催等のソフト事業を着実に実施してきている。

■まちづくり総合支援事業、まちづくり交付金事業による地域活性化や住民の利便性向上に向けた都市基盤整備

中心市街地活性化基本計画に基づくまちづくりの展開の中で、霧島市が実施した基盤整備のうち、国分駅西口駅前広場、国分駅東西自由通路、都市計画道路、公園・ポケットパーク、アメニティ歩行空間整備については、「国分中央地区まちづくり総合支援事業」により、また、都市計画道路(平和通線、向花清水線)、国分駅東口自転車駐車場、国分パークプラザ内市民広場、ペDESTリアンデッキについては、「国分中央地区都市再生整備事業」により、総合的に実施している。

■地域の現況

・国分中央地区はH17年の市町村合併後策定された霧島市都市計画マスタープランに基づき、主要な都市機能を集約する「核都市」とし、拠点性の強化並びに定住化の促進等の活性化を促進しなければならない地区として位置づけられている。
 ・国分中央地区の歩行者通行量は、国分山形屋やパークプラザといった、商業・業務核の整備後に大幅な増加を示したものの、その後伸び悩んでいる状況にある。また、隣接する姶良市において基本商圏を車60分(約30km圏内)、霧島市国分中心市街地から約8km)とする大型ショッピングモールが進出しており、今後周辺地域からの流入率の低下や、まちの求心力の低下が懸念される。
 ・中心地区として「夜の賑わいの創出」も重要であり、一部、照明や街路灯等の整備を行ってきたが、未だ夜間の賑やかさの演出に乏しく、防犯の観点やまちの安全性からもさらなる整備が求められている。
 ・幹線道路ネットワークや交通結節点機能といった軸の形成は進展がみられるものの、軸にアクセスする細道路においては、歩行空間が明確でない区間や幅員狭小区間の存在による自動車のすれ違いが困難な箇所が存在しており、自動車及び歩行者移動の安全性向上が求められる。
 ・国分山形屋・パークプラザといった拠点施設整備はなされたものの、その周辺地域の道路においては、回遊性を高めるような空間づくりが不足しており、賑わいに欠ける。

課題

●国分中央地区の求心力の回復に向けた、賑わいの創出や回遊性の更なる向上に向けた取り組みの展開

・国分中央地区の求心力の回復に向け、商業拠点として魅力ある商業環境や賑わいの創出に向けたハード、ソフトの取り組みを改めて実施する必要がある。

・拠点地区における夜間の「賑わいの創出」、「防犯性の向上」に向けた取り組みを展開する必要がある。

●街へのアクセス、街中を巡る道路機能の更なる強化と質の改善

・幹線道路ネットワークの未結区間の早期整備による、中央地区へのアクセス性や中央地区内での回遊性の更なる向上を図る必要がある。

・国分山形屋・パークプラザ周辺の市民生活に密着した道路ネットワークの質的強化を図る必要がある。

●安全性の高い市街地環境の確保

・市民生活に密着した細街路における安心・安全な自動車走行空間、歩行者空間の創出を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

■霧島市都市計画マスタープラン

●都市づくりの基本理念: 世界にひらく、人と自然・歴史・文化がふれあう都市

●都市の将来像: 人と自然が輝き、人が拓く、多機能都市

* 土地利用の方針

・国分中央三丁目を中心とする市街地を、市民や来訪者のための商業・業務地と位置付け、商業施設や業務施設等の立地を誘導する。

・国分パークプラザ等が立地する中心市街地は、空き店舗・未利用地の有効活用や、回遊できる歩行者空間の整備などを進め、県央地域中核都市の商業拠点にふさわしい中心商業地として活性化に努める。

・都市計画道路向花清水線のJR国分駅西側周辺沿道や都市計画道路野口線の川跡交差点から単人市街地に至る沿道には、ロードサイド型の商業施設が立地していることから、都市景観に配慮した沿道型の商業地の形成を図る。

* 道路・交通施設整備の方針

・都市計画道路については、新町線、川跡線、犬追馬場線、山崎線の早期完成を目指す。

* 下水道・河川整備の方針

・都市化の進展による保水力の低下に対応し、浸水被害対策のための雨水幹線排水路やポンプ場等の施設の整備を図る。

目標を定量化する指標

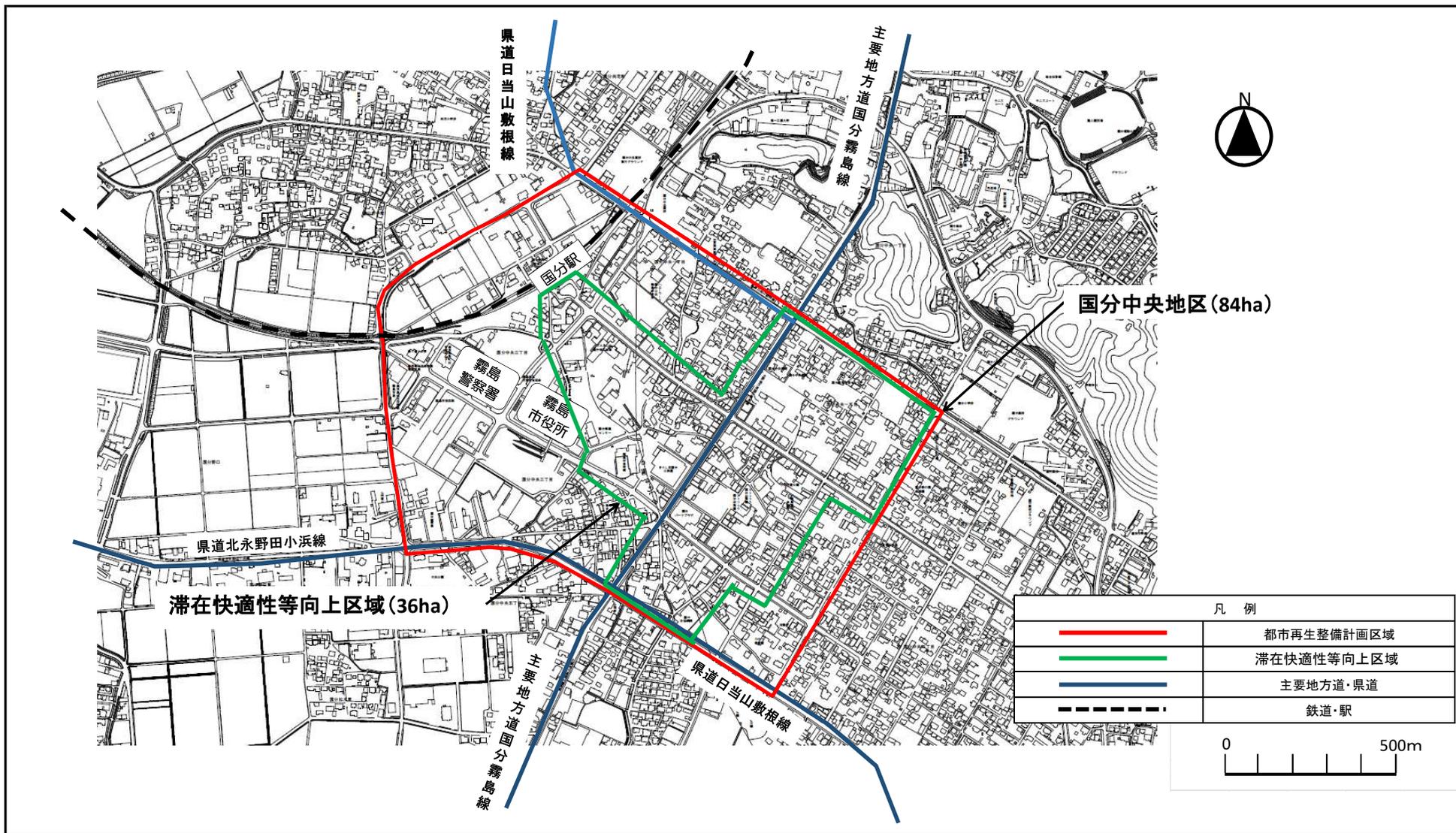
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
通りの回遊性	人/日	中心市街地における1日あたりの歩行者数	中心市街地の歩行者数の増加が、「核」、「顔」としての求心力の回復に向けた、まちの回遊性の向上の度合いを示すものである。	1,405	1,405	H27年度	R3年度
中心市街地の活性化に関する満足度	%	霧島市市民意識調査における「国分・単人の中心市街地は活性化しているか」に対する「そう思う」の回答割合	市民の中心市街地の活性化に対する満足度が、「核」、「顔」としての求心力の回復に向けた、まちの総合力の向上の度合いを示すものである。	63	65	H28年度	R3年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ●歩行者の回遊性の向上と快適な歩行者空間の整備によるまちとしての総合力・回遊性の向上 ・国分山形屋、国分パークプラザ周辺の商業・業務拠点内の歩行者回遊ネットワークの整備を図る。 ・拠点地区内の夜の賑わいの創出や防犯性の向上を図るための環境整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業 (高質空間形成施設) 市道西町線、川跡地区道路(カー舗装、水路床版整備)
<ul style="list-style-type: none"> ●骨格道路の機能強化と市民生活に密着した道路の質の強化 ・未整備の幹線道路の早期整備による骨格強化及び市民生活に密着した密着性の高い道路及び交通施設整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業 (道路) 市道町の下2号線、犬追馬場線 (高質空間形成施設) 市道西町線、川跡地区道路(カー舗装、水路床版整備)
<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全なまちとしての機能の向上 ・安全性、防犯性の高い快適な歩行者空間や環境整備を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹事業 (道路) 市道町の下2号線、犬追馬場線 (高質空間形成施設) 市道西町線、川跡地区道路(カー舗装、水路床版整備)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○円滑な事業執行の環境 <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中に、事業の進捗状況や成果の発現状況を把握し、その後の事業を円滑に実施するため、モニタリングを実施する予定である。 ○継続的なまちづくり活動 <ul style="list-style-type: none"> ・霧島市商工会議所と連携し、中心街区内通り会によるまちづくり活動への支援やこれらと一体となったまちづくりに努める。 	

都市再生整備計画の区域

きりしましこくぶちゆうおうちく だい きりしまし 霧島市国分中央地区(第3期) (鹿児島県霧島市)	面積	84(34) ha	区域	国分中央一丁目及び国分中央三丁目、府中町の一部
--	----	-----------	----	-------------------------



霧島市国分中央地区(第3期)(鹿児島県霧島市) 整備方針概要図(まちなかウォーカーブル推進事業)

目標	未来に向けた新たな地域の発展をリードする安全・快適な国分地区の核と顔づくり	代表的な指標	通りの回遊性 (人/日)	1,405 (H27年度)	→	1,405 (R3年度)
			中心市街地の活性化に関する満足度 (%)	63 (H28年度)	→	65 (R3年度)
			()	()	→	()

